



高 高 校 Q&A

〒992-0334 東置賜郡高島町大字一本柳 2788 番地
TEL 0238 (58) 5400 FAX 0238 (58) 5403

Q 1 育てたい生徒像や伝統・校風について教えてください。

本校は、普通科から総合学科に改編して19年目になりました。本校総合学科では、教科・科目の学習と合わせて、自分の人生をデザインする力を育てる「キャリア教育」を重視しています。将来にわたっての自己の在り方・生き方、また、他者とのかかわり方を考える場面を多く設け、さまざまな手法で学習を進めていきます。

(1) めざす生徒像

「地域を愛し、自他の未来を切り拓く生徒」

(2) 育成する10年後の人物像

「職業人、地域社会の一員として地域に貢献できる人」

(3) 伝統・校風

本校は大正11年に<高島実科高等女学校>として創立され、今年度で**創立100周年を迎えた伝統校**です(10月には100周年に係る学校行事が開催されます)。平成16年に普通科から**総合学科に改編**し、現在に至っています。総合学科を持つ高校は県内に8校ありますが、本校は4番目に総合学科になりました。クラスは一年次(学年)2クラスです。

五角形を模した校舎は、人と環境にやさしいユニバーサルデザインで、平成17年にJR高島駅から徒歩6分の場所に移転新築されました。階段教室で140人収容可能な総合学習室や進路指導室と隣接した図書館、設備の整った実習室、カウンセリング室が2部屋ある保健室など、素晴らしい学習環境です。

平成13年にオーストラリアのシングルトンハイスクールと姉妹校の締結をし、平成18年度からは交換留学(3ヶ月)を実施するなど、**国際理解学習**に力を入れています。同時に、**地域に根差した学習も展開**しています。授業や学校行事、ボランティア活動等で、高島町や地域の方々にお世話になることも多く、高島町唯一の高校として地域を愛する心を育てています。(1)のめざす生徒像にもそのことがよく表れています。

校舎がJR高島駅から近いこともあって、生徒は、高島町はもちろんのこと、米沢市、南陽市、川西町、上山市、山形市などからも広く集まります。

男女比は男子30.2%、女子69.8%です。

(4) 校訓

- 一 精進をもって自らを修める
- 一 礼節をもって人に接する
- 一 誠心をもって社会に貢献する



Q2 教育内容で特色となっていることを教えてください。

- (1) 4学期制（ほぼ3ヶ月おきに学期を設定）です。定期考査は年に4回あり、短いスパンで学習成果を確認することができます。
- (2) 1年次生はクラス単位での学習が中心となります。2・3年次生になると、クラス単位の授業の他に、総合学科ならではの「**選択授業**」が多くなります。各自の興味・関心や進路希望に応じた科目を選択し、学習します。
- (3) **キャリア教育**に力を入れています。1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「総合的な探究の時間」を中心にして、ボランティア体験、農業体験、地元企業等の見学、**インターンシップ**、各種講演等、様々な体験学習や進路学習を実施しています。
- (4) **高大連携**（立教大学との交流、米沢女子短期大学や東北文教大学短期大学部での授業聴講）に積極的に取り組んでいます。
- (5) 漢字検定、数学検定、英語検定、ビジネス文書実務検定等の資格取得や、ボランティア活動を推奨しています。規程により**本校の学修単位**として認定しています。
- (6) オーストラリアのシングルトンハイスクールとの間で、**短期交換留学**（3ヶ月）を行っています。
- (7) 「**異年次混合授業**」を取り入れています。「異年次混合授業」とは、2年次生と3年次生が一緒に授業を受けるものです。これにより、2年次生と3年次生が年次の枠を超えてともに学びあい、教えあうことで、相互に刺激し高め合うことができます。2年次生は3年次生の姿を見て、学習や進路に対する意識が高まります。

Q3 系列について教えてください。

本校では、3つの系列を整備しています。

1つ目は、「保育福祉系列」です。「保育福祉系列」では、生涯にわたり健康で自立した生活をするための基礎的・基本的な知識と技能を習得し、こどもの発育や高齢者の介護・福祉に関連する本地域特有の産業についての理解を深めます。目指す進路として、幼児教育系、福祉系の大学・短大や専門学校への進学、または、福祉・サービス関係企業、公務員への就職を想定し、幅広い年齢層との円滑なコミュニケーションを活かした進学・就職を目指します。

2つ目は、「地域創造系列」です。「地域創造系列」では、置賜地方の自然、歴史、文化、芸術を学び、これからの地域の在り方を主体的に考え、地域の課題を発見しそれらを解決できる知識と技能を習得します。目指す進路として、芸術系、体育系の大学・短大や専門学校への進学、または、一般企業、公務員への就職を想定し、主体的に行動できる力、創造力豊かで独創的な力を生かした進学・就職を目指します。

3つ目は、「文理総合系列」です。「文理総合系列」では、人文科学や自然科学に関する学習を深化・発展させ、自ら課題を発見し探究する姿勢を育み、生涯にわたって学び続ける能力と態度を養います。また、大学や短大で学問を専攻するにあたり、学問の面白さや考え方の良さについての気づきを持ち、高度な専門分野に対応できる知識と技能も養います。その専門性の違いにより3つの系（人文系、理工系、医療系）に細分化します。目指す進路として、人文・社会科学(人文系)、自然科学系(理工系)の大学・短大や専門学校への進学、看護やリハビリ系(医療系)の大学・短大や専門学校への進学(就職進学)を想定し、深く考える力や学問的な真理を究める力を生かした進学を目指します。

Q 4 3年間で学級編成はいつどのように行われますか。

1年次から2年次になるときにクラス替えがありますが、それは進路希望別に組み替えるものではありません。本校は総合学科であるため、文系・理系、あるいは就職希望・進学希望のような分け方はしません。2年次から3系列に応じた選択科目を中心とした授業が行われますが、それらに応じたクラス編成をするわけでもありません。

Q 5 特色ある授業について、その内容を教えてください。

本校には、総合学科ならではの特色ある科目がたくさん用意されています。本校が独自に開設した科目（「学校設定科目」といいます。）もあります。

2ページから4ページにかけて、本校で開設する特色ある科目について紹介します。

[文学国語] （国語科で担当）

鶴岡市出身の藤沢周平の作品など郷土及び県内の文学について学びます。地域の風土にはぐくまれた作品を鑑賞し、作品そのものと地域について学んでいきます。

[郷土歴史文化] （地域創造系列教科で担当）

山形県や置賜地方の歴史や風土、文化などを詳しく学習する授業です。校外学習やテーマ学習など様々な学習形態をとりながら授業を進めていきます。地域の伝統行事や郷土の偉人についての学習も行います。

[観光基礎]、[観光振興] （地域創造系列教科で担当）

「観光基礎」では、観光産業を構成する要因や、成功している観光地の取り組み等について学習します。「観光振興」ではそれをさらに発展させ、観光プランの創出なども行います。映像を活用してCM制作をしたり、大学生との共同企画もあります。

[有機農業の社会] （地域創造系列教科で担当）

農業の科目ではなく、公民科の科目です。高島町の有機農業実践家の方々との協力を得ながら、実際の農業体験も入れて有機農業について学ぶ科目です。有機農業を巡る社会環境や食の安全等も含めて、様々な視点から学んでいきます。

[国際理解] （英語科で担当）

A L Tを交えて英語でコミュニケーションをしながら異文化を楽しく理解する授業です。英語を『使う』ことを積極的に行い、最終的には本校の姉妹校であるシングルトンハイスクールや、台湾の大学生との英語を使った交流を行う授業です。

[英語探究] （英語科で担当）

英語でエッセイを書いたり、スピーチを行ったり、難易度の高い英文の読解を行ったりする発展的な科目です。4年制大学進学を考えている人はぜひこの授業を取って、入試に対応できる力をつけましょう。

[ビジネス基礎]、[観光ビジネス] など （商業科で担当）

商業に関する科目の開設は、「ビジネス基礎」、「観光ビジネス」、「ビジネス法規」、「簿記」、「情報処理」の5つです。会計処理や文書作成、会社経営について学んだり、ビジネス文書実務検定の資格取得に挑戦したりと、それぞれの科目で特色ある学びを展開しています。

[フードデザイン] （家庭科で担当）

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど食生活全般にわたってのデザインができるような知識と技術を身につける科目です。栄養素の働きや食品の特徴、食品の生産等について学習し、実習を通して安全で効率よく、おいしい調理の仕方について学んでいきます。

[保育基礎] (家庭科で担当)

幼稚園教諭や保育士を目指す生徒の多くが選択する科目です。乳幼児の特徴や心と身体の発達、正しい生活習慣の形成や健康管理、子どもの遊び等について学びます。幼稚園に出向いて行う実習などもあります。

[情報デザイン] (情報科で担当)

コンピュータソフトを使って各種デザインを行う授業です。コンピュータ室にある「イラストレータ」などのソフトを使って実施しています。名刺作りや新聞広告を想定した作品づくりなど、情報を発信する場合のデザインのあり方等について学びます。本校学園祭のポスターは、この科目の選択者がデザインしています。

[社会福祉研究] (福祉科で担当)

福祉に関する科目は本校総合学科の大きな特徴の一つです。この科目では、車椅子を使った校外実習(電車や駅の利用体験)や福祉施設訪問なども行い、福祉に関する多様な活動や調査研究を通して多面的に学んでいきます。本校は立教大学コミュニティ福祉学部との関係が深く、大学教授や大学院生による講義なども実施しています。

[コミュニティスポーツ] (保健体育科で担当)

生涯スポーツやレクリエーション種目について学び実践することを主な内容とする科目です。体育では、ほかに「スポーツⅠ」(陸上競技等)、「スポーツⅡ」(球技)、「スポーツⅣ」(ダンス)、「フィジカルフィットネス」(トレーニングについて学ぶ科目)など多様な選択科目を開講しています。

[農業と環境]、[地域資源活用] (農業科で担当)

ともに農業の科目です。実習を通して土づくりや肥料の与え方等について工夫を重ね、作物の生育管理と収穫につなげるとともに、農業が環境保全や地域の発展、観光などどのようにつながっているかについても学習を深める科目です。

Q6 特別活動(学校行事等)や部活動について、その様子や特色を教えてください。

- (1) 生徒会活動…本校の生徒会は執行部を中心に活発に活動しており、合唱コンクール、学園祭、クラスマッチなどの行事を自らの手で作り、盛り上げています。また、地域の祭りである「まほろば河童まつり」や「青竹ちょうちん祭り」への参加、各種委員会活動、あいさつ運動などに積極的に取り組んでいます。
- (2) 学校行事……**学園祭、クラスマッチ、合唱コンクール、3年次生を送る会**など様々な行事があります。中でも学園祭は、生徒会企画や、模擬店出店など様々な催しがあり、毎年盛大に行われています。2年次の研修旅行は、例年は海外(台湾4日間)に行き、国際的な視野や感覚を身につけ、生きた英語を学ぶ場になっています。
- (3) 部活動 ……本校では、部活動の全員加入を推奨しています。各部とも先輩・後輩の関係が良好で、目標を掲げ活発に活動しています。

現在本校にある部活動は以下の通りです。(男)(女)の指定がないものは男女ともあります。(現在、部の再編を検討しています。)

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 運動部… 硬式野球(男), 陸上競技, ソフトテニス(女), 卓球, バレーボール(女)
バスケットボール(男女別活動), サッカー(男), 剣道, フェンシング※ |
| ② 文化部… 吹奏楽, 美術, 書道, 演劇, 手芸・調理研究, パソコン |

※フェンシングは平成28年度に新設され、令和2年度から部に昇格しました。

Q6 毎日の学習ではどんな点に力が入れていますか。

(1) わかりやすい授業と丁寧な指導

教科によって内容や方法は異なりますが、その日の学習目標を明確にしてポイントを押さえた授業を行っています。また、1年次の英語や数学では**少人数授業やチームティーチング**を実施したり、福祉に関する科目や体育の一部科目でも**チームティーチング**を取り入れたりして、指導が行き届くようにしています。

(2) 毎日の**予習・復習**や**課題**にしっかりと取り組んで、家庭学習の習慣化を図ること

家庭学習の習慣を身につけることで学習内容の定着も高まり、次の学習への意欲も湧いてきます。学習習慣が根付けば、将来の進路希望の実現にもつながります。「ドリーム手帳」(本校での呼び名。予定や学習時間等の記録を書き込む手帳で、生徒手帳も兼ねています)も取り入れ、生徒自らがスケジュール管理に取り組んでいます。

(3) 教室をきれいに**整った環境**の中で学習すること

きれいな校舎の保全と相まって、普通教室や特別教室など授業を受ける場の環境を整えています。

Q7 生活面ではどんな点に力を入れて指導していますか。

(1) あいさつの励行

礼儀やマナーを大切にしています。特に本校は地域とのつながりを重んじているため、地域の方々に生徒の礼儀正しさ、あいさつのよさを感じていただけるように日頃から指導しています。

(2) 校舎を大切に使うこと

ユニバーサルデザインの校舎の美化・保全に気を配っています。

(3) 基本的な生活習慣を身につけること

本校は選択科目が多く、それに伴って教室移動も多いため、学習用具の管理や時間を守って行動することを指導しています。また、服装・頭髪等の身だしなみに気を遣うことを指導しています。



制服のエンブレム

Q8 日課はどのようになっていますか。

本校の日課は次のようになっています。授業は**1コマ50分**です。

SHR	1校時	2校時	3校時	4校時	昼休み	5校時	6校時	清掃	SHR
8:30	8:50	9:50	10:50	11:50	12:40	13:25	14:25	15:15	15:35
~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
8:40	9:40	10:40	11:40	12:40	13:25	14:15	15:15	15:35	15:40

Q9 進学・就職にあたっての指導はどのように行われていますか。

(1) 1年次の指導……学校設定科目「産業社会と人間」で行われる進路講話や科目選択ガイダンス等を通して、進路について理解を深めていきます。この科目では様々な体験活動を行っており、**ボランティア体験、農業体験**(本校では「いのち耕す体験」と呼んでいます)、**地元企業見学会**などを通して自分の目で見て、感じて、体験することを重視しています。

また、科目選択に関する**個別面談**も行っています。

(2) 2年次の指導……「総合的な探究の時間」での進路学習を中心に指導を進めていきます。その内容は進路講話や分科会ごとの学習など多岐にわたります。また、2年次では、全員が3日間の**「インターンシップ」**を行っており、地元企業を中心に会社や施設、役所等で就業体験をします。これにより生徒の進路意識が格段に高まります。

(3) 3年次の指導……3年次は、「総合的な探究の時間」での進路学習が中心になり、**進路別分科会**での指導が中心になります。それぞれの進路希望ごとに「志望理由書作成」や「模擬面接」を行います。また、外部講師による講演や卒

業生からの合格体験講話など、より実践的な内容で指導を行っています。
このほか放課後講習や個別添削、小論文・面接指導など、進路希望の実現のために様々な指導を行っています。

Q10 生徒の出身中学校について教えてください。

令和4年度の全校生徒の出身中学校別人数は次のようになっています。

高 島 町	南陽市			川 西 町	米沢市							上山市			そ の 他	計
	高 島 中	沖 郷 中	赤 湯 中	宮 内 中	川 西 中	第 一 中	第 二 中	第 三 中	第 四 中	第 五 中	第 六 中	第 七 中	南 中	北 中		
101	8	16	12	13	6	7	7	14	8	3	12	1	1	4	2	215
101	36			13	57							6			2	215
47.0%	16.7%			6.0%	26.5%							2.8%			0.9%	100%

この表からわかるように、出身中学校で一番多いのは地元高島町ですが、次いで多いのは米沢市となっています。学校がJR高島駅から徒歩6分という至極便利な位置にあるため、各地から生徒が通学しています。

Q11 生徒の卒業後の進路状況について教えてください。

令和3年度卒業生の進路状況は次のようになっています。

種 別		人数	割合	
進 学	1 大学	14	16.7%	
		国公立	0	0.0%
		私立	14	16.7%
	2 短期大学	15	17.9%	
		国公立	4	4.8%
		私立	11	13.1%
	3 看護・医療系専門学校	11	13.1%	
4 短期大学校・専修・各種学校	9	10.7%		
	進学者合計	49	58.3%	
就 職	5 就職	34	40.5%	
		県内	30	35.7%
		県外	4	4.8%
		公務員	0	0.0%
	6 自営・縁故	0	0.0%	
	就職者合計	34	40.5%	
7 その他（大学浪人等）	1	1.2%		
	合 計	84	100.0%	

このように、本校生は様々な進路希望を実現しています。
大きく見ると、進学が6割、就職が4割です。

【進学先】

- 四年制大学
立教大、東北芸術工科大、東北公益文科大学、東北文教大学、仙台大学、千葉商科大、聖徳大学、城西大学、関東学院大学
- 短期大学
県立米沢女子短大、東北文教大短大部、羽陽学園短大、福祉垂学院大短大部、聖和学園短期大学、愛知産業大学短期大学
- 短期大学校
専門学校トヨタ東京自動車大学校
- 専門学校
三友堂看護専門学校、山形厚生看護専門学校、山形医療技術専門学校、福島看護専門学校、新潟看護医療専門学校、山形歯科専門学校、山形美容専門学校、東北電子専門学校 ほか

【就職先】

- 県内
タカハタ電子、オカムラ高島事業所、小森マシナリー、たかはたファーム、ASEジャパン、日本生乳、山形三菱鉛筆、ミュキ精機、アクセスよねざわ、米沢牛黄木、ほか
- 県外
山崎製パン、ダイケンテクノ
- 公務員
なし

Q12 志望する生徒に、中学校生活の中で努力してほしいことは何ですか。

- (1) 毎日の授業を大切に、学習の基礎・基本をしっかりと身につけること。
- (2) 予習・復習や課題（宿題）に取り組み、家庭学習の習慣をつけること。
- (3) 挨拶の励行や服装・頭髪を端正にすることなど、学校生活や社会生活で必要となるマナーを身につけること。

Q13 今年度の説明会等の日程を教えてください。

- (1) 中学生対象オープンスクール
令和4年8月2日（火）に実施しました。
全体説明、校舎見学、模擬授業、部活動見学などがあります。
- (2) 生徒・保護者対象の説明会
令和4年11月18日（金）18：00から実施しました。オープンスクールに参加できなかった人や、本校の様子を知りたいという保護者の方に向けたものです。毎年、生徒・保護者が一緒にお出でになるケースが多く、沢山の人が参加してくださいます。
- (3) 中学校の先生対象の説明会
令和4年11月8日（火）に実施しました。

おまけ 最後に・・・あらためて「総合学科」とは何か？

「総合学科」とは、普通科と専門学科の双方の特徴を兼ね備えた「第3の学科」と言われるものです。幅広い選択科目の中から自分で科目を選択して学ぶことを通して、将来の進路への自覚を高めることを重視しています。全国的には平成6年度よりスタートした制度です。

「普通科」が普通教科を中心に学んで進学を、「専門学科」が専門教科を中心に学んで就職を目指すのに対して、「総合学科」は選択の仕方次第で様々な進路に対応できます。

総合学科の高校は、全国に350校以上あります。

参考：履修科目のイメージ（選択者数等により毎年多少変わります）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次 科目 目 名	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	科学と人間生活	体育Ⅰ	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	家庭基礎Ⅰ	情報Ⅰ	産業社会と人間	ホームルーム活動														
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次 科目 目 名	論理国語（継続）	公共	体育Ⅱ	保健	英語コミュニケーションⅡ（継続）	2年次選択Ⅰ △生物基礎 △化学基礎	2年次選択Ⅱ △古典探究（継続） △文学国語（継続） △人間社会と数学 △数学B	選択群a △世界史探究（継続） △日本史探究（継続）	選択群b △論理・表現Ⅱ △国語表現（継続）	選択群c （2時間連続） △化学基礎 △保育基礎（継続）	選択群D △数学Ⅱ ▲英語探究 簿記 有機農業の社会	選択群E △物理基礎 △生物基礎 △物理（継続） △生物（継続） ▲数学Ⅲ 国際理解	▲物理探究 ▲化学探究 ▲古典探究（継続）	▲文学国語（継続） d 1 ▲応用数学	d 2 （2時間連続） ▲スポーツⅡ	e 1 ▲国語表現（継続） ▲政治・経済	e 2 （2時間連続） ▲保育基礎（継続）	総合的な探究の時間	ホームルーム活動										
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
3 年次 科目 目 名	論理国語（継続）	地理総合	体育Ⅲ	英語コミュニケーションⅢ（継続）	3年次選択群Ⅰ ▲社会福祉研究 ▲化学 ▲観光振興 ▲農業と環境	3年次選択群Ⅱ ▲時事探究 ▲世界史探究（継続） ▲日本史探究（継続） ▲物理（継続） ▲生物（継続） ▲介護福祉基礎（下） ▲観光ビジネス	▲生物探究 ▲活用数学 ▲こころとからだの理解 服飾手芸 スポーツⅠ 情報処理 ビジネス法規	介護福祉基礎（上） フィジカルフィットネス 書道Ⅱ ディベート ディスカッション コンテストの制作と発信	音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅲ スポーツⅣ	郷土歴史文化 社会福祉基礎 絵画探究 造形探究 書道探究 フードデザイン 地域資源活用 観光基礎 メディアとサービス	音楽探究 社会福祉基礎 ビジネス基礎 美術Ⅰ 書道Ⅰ コミュニケーションスポーツ 情報デザイン	総合的な探究の時間	ホームルーム活動																